★このレポートでは、青年部事業の実施報告や事業ＰＲを行っていきます★

青年部メンバー　各位　　Ｆｅｂｒｕａｒｙ　６．２００７

尼崎商工会議所青年部レポート　【平成 18 年度 vol. ９】

Ｙｏｕｎｇ　Ｅｎｔｒｅｐｒｅｎｅｕｒｓ　Ｇｒｏｕｐ　Ｒｅｐｏｒｔ

夢と希望と好感の持てるあまがさきをめざして！

「1／25 阪神７市１町の商工会議所青年部員が芦屋に結集し交流会開催」

阪神間の商工会議所、商工会の青年部で構成する阪神7市1町商工会議所・商工会青年部連絡協議会（片山昌宏会長：芦屋市商工会青年部部長　）は、青年部員自らの事業基盤強化を図ることを目的に、事業紹介冊子“トレぼん7＋1”（7＋1は阪神間の7市1町を意味する）を発行。1月25日に、「ホテル竹園芦屋」で発行報告並びに交流会を開催しました。

尼崎からは小坂部会長（栄興電機工業㈱社長）をはじめ21名が参加。各市の若手経営者からの現状報告を、本青年部を代表して小島監事（大阪油脂工業㈱社長）が行いました。その後、青年部活動を広く周知するためには、青年部の活動を地域メディアに理解してもらう必要があることから、ゲストとしてケーブルテレビなど各地地元のメディアを迎え、総勢100名以上の青年部員と交流を深めました。

「(1/25) 阪青協でスピーチする小島監事」

「(1/30) 行政幹部懇談会で挨拶する小坂部会長」

「1／30 尼崎を魅力ある街にしたい！行政幹部職員との懇談会を開催」

県や市の行政幹部とざっくばらんな雰囲気で、まちづくりを語りあいたいという思いから、毎年開催している「行政幹部との懇談会」。今回はてっぽう本店にて、ゲストに兵庫県阪神南県民局地域振興部北野部長や尼崎市産業経済局岩田局長をはじめ10名の行政職員に出席していただき、青年部メンバー20名とディスカッションを行いました。

会のはじめに、ゲストスピーチとして尼崎市都市政策課の伊藤係長から、旅行ガイドブック『るるぶ』の尼崎市版作成について話がありました。ここ数年『練馬区』や『川崎市』など、従来の観光地としてのイメージが無い地区での『るるぶ』作成実績があり、市外だけでなく地元民にも好評であり、経済的波及効果のみならず地元への愛着を醸成する役割もあるとのこと。市の財政状況が厳しいので、尼崎市版作成にあたっては地元企業の協力が不可欠であるとのこと。次に、都市政策課藤係長から城内地区まちづくりについて説明がありました。

それらの話を踏まえ、県民局、市役所も交えて班分けをし、それぞれで尼崎のまちづくりについて議論。その後各班から発表があり、『るるぶ尼崎市版』の実現に向けて愉快な？提案などがあり、その後、名刺交換等で交流を深めました。

■　本件担当　■

尼崎商工会議所　青年部事務局

産業振興グループ　福島・小林　迄

Tel. 06-6411-2252　Fax. 06-6413-1156

E-mail: fukushima@amacci.or.jp

URL: http://www.amacci.or.jp/